

VOICE VOICE 声

このコーナーでは、市民の皆さんからのvoice（声）を掲載していますが、今月は皆さんから寄せられる「市民の声」（以下「声」）についての概要をお知らせします。

「声」の受付窓口はどこ？

石狩市役所には「市民の声を聴く

課」があり、『広報いしかり』を編集・発行などをする広報業務と、市民の方からの「声」を受け付けたり対応の取りまとめなどをする広聴業務を担当しています。この「市民の声を聴く課」で皆さんの「声」を主にお受けしています。

また、市民の皆さんが「この内容であれば〇〇課が担当だろう」と容易に判断がつく場合は、直接の担当課に「声」が伝えられています。市民の声を聴く課だけではなく、市役所全体で「声」をお受けしているのです。

「声」の伝達手段は？

「声」の伝達手段として、電話や市役所への来訪、ファックス、郵便書簡、Eメールなど、さまざまな手段があり

ます。最も多く利用されているのが電話ですが、ここ数年、これに迫る勢いでEメールも増えてきています。

「声」の内容は？

多様な手段で寄せられる「声」の内容はさまざまですが、左下グラフからもお分かりのように、要望や苦情が全体の8割を超えています。

また、下表には平成15年度に受け付けた「声」の内容の上位項目をまとめました。この表をみると、除排雪や公園の管理、道路、ごみ、上水道などのように日常生活にかかわる事柄についての「声」が数多く寄せられているのが分かります。

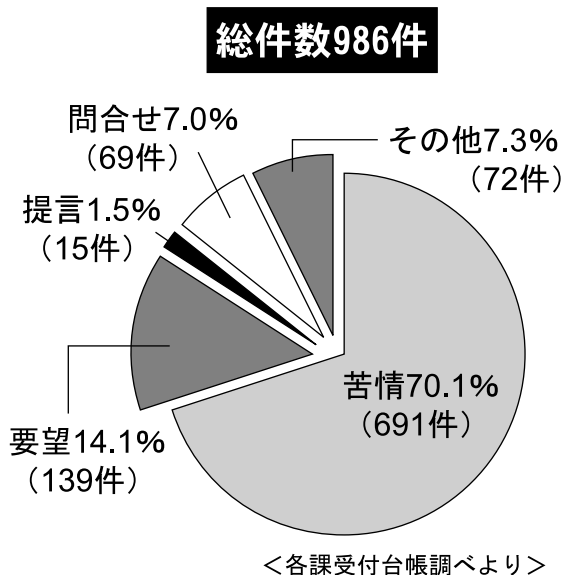
表 平成15年度「声」の内容別上位項目

順位	内容
1位	除排雪
2位	公園の管理
3位	道路
4位	ごみ
5位	上水道（水質・漏水等）
6位	野焼き
7位	職員のサービス（窓口対応等）
8位	除草
9位	市営墓地（墓石の破損等）
10位	犬（放し飼い等）

平成15年度市役所に寄せられた「声」の件数

【用語の使い分け】

- 提言
市政に関する意見やアイデアなどを表明するもの
- 要望
市などの事業について何らかの改善等を要求するもの
- 苦情
市などの事業に伴って生じた迷惑や不満を表明するもの
- 問合せ
市などの事業について詳細内容を尋ねるもの
- その他
上記4種類のいずれにも該当しないもの



石狩市をより良いまちに育てるためには、皆さんからの「声」が必要です。これからも、市政についての要望や提案をお寄せください。

問合せ
市民の声を聴く課 ☎72-3153
PR@city.ishikari.hokkaido.jp

大募集!!

毎月の締切は前月の5日です
 広報紙への感想や批評、市への質問など何でもお寄せください。イラスト・写真（ともにオリジナル作品に限る）も大歓迎です。
 ※匿名希望の場合もお便りには名前、住所、電話番号を必ず明記してください。

TEL (0133)72-3153
 FAX (0133)74-5581
 Eメール PR@city.ishikari.hokkaido.jp

石狩市役所
 広報いしかり 行
 あなたの住所・名前
 電話番号

句歌歳時記

【俳句】
 川風や友と手折りし猫柳
 小林 順子
 猫柳添へし仏花の売られをり
 角 恵美子
 猫柳手折りし枝に壺映ゆる
 唐沢 礼子

【短歌】
 一椀に春の香りが広がりにて
 楽しく一日過ごせた幸福
 吉田 百合子
 しとしとと銀糸の雨脚林床の
 褥をたたき芽生えを誘ふ
 岩崎 孝行
 舟形の歌碑に手触れし師の涙
 われも涙に言葉なかりき
 佐藤 友企子



歴史のドアを開けよう

Natural History 第56回

いしかり博物誌

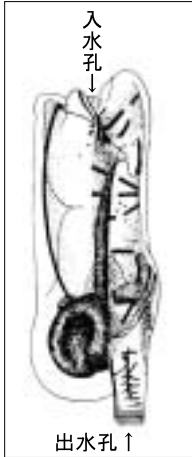
■文化財課 ☎72-6123
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp

■石狩浜海浜植物保護センター ☎60-6107
ihama@city.ishikari.hokkaido.jp



▲石狩浜に漂着したサルパ。
全長約15cm

図1



入水孔↓

出水孔↑

▶サルパの構造
『日本海洋プランクトン図鑑』
山路勇著 1966年

「」の春、サルパを拾いま
した。
石狩浜には、いろいろな
ものが漂着しています。5
月の砂浜を歩いていたら、透
明で軟らかそうな物体を見
つけました(写真)。クラゲか？
と思いつつ近づいてみると、
ちよつと違います。外形は
丸くなく、まるで草履ぞうりのよ
うです。長さは15cmくらい。
透けて見える内部には内蔵

の春、サルパを拾いま
した。

海底で岩などに固着して
生活するホヤに対して、サ
ルパは海中をゆらゆら漂う、
大きな動物プランクトンです。

翌日、館のスタッフがイ
ンターネットでそれら
しきものを見つけたので、図
鑑でも確認したところ、正
体が判明しました。「サルパ」
です。原索動物(魚や鳥、ほ
乳類など脊椎動物の祖先に
当たる)の一種で、食卓にも上
るホヤの仲間です。スキュー
バダイビングで目撃されたり、
魚網に掛かることがあり、
その世界では知られている
ようです。

のようなものがあるので、す
でに死んでいますが動物で
あることは間違いありません。
触ってみると予想外に、ゴム
のような弾力があります。落
ち着いて周りをよく見ると、
同じような物体がいくつも
転がっていました。とりあ
えず資料館に持ち帰りました。

なぜ謎の漂着物!?



図2

対馬暖流

黒潮

▲南から漂流物を運ぶ対馬暖流

お知らせ

7月10日(土)、野外講座「石
狩ビーチコーマーズ/漂着
物の博物誌」を開催します。
(22ページをご覧ください)

サルパは本来、暖かい海
で生活しています。そ
れを北海道まで運んできた
のは、赤道太平洋に起源を

持ったのかもしれない。
たのは、そのタイプの残骸
だったのかもしれない。

「入水孔」と呼ばれる口を
パクパクさせて海水を吸い
込み、小さなプランクトン
などを漉し取って食べてい
ます(図1)。1匹だけでい
ることもありすが、鎖の
ように何十匹もつながって
漂っていることもあるそう
です。石狩浜に漂着してい
たのは、そのタイプの残骸
だったのかもしれない。

(いしかり砂丘の風資料館
志賀健司)

皆さんも浜辺を歩くとき
は足もとに注意してみましょ
う。謎の生物が見つかるか
もしれませんよ。